

令和2年度福岡県歯科保健医療推進協議会(書面開催)における意見

協議事項1 会長及び副会長の選出について

事務局案を承認 20名中20名

- ・福岡県歯科医師会会長 大山委員が会長として選出されました。
- ・福岡県医師会常任理事 戸次委員が副会長として選出されました。

報告事項1 令和元年度歯科保健医療事業実施状況について

委員からの御意見

御意見	事務局回答
<p>「がん患者のための歯科医療連携推進事業」はがん治療が円滑に進み患者の生活の質を維持するために有効な事業と考えるが、がん患者の口腔ケア、歯科治療ができる人材の育成等の進捗状況が記載されていたらよいと思う。</p>	<p>本事業の進捗について、数値による記載は難しい点がありますが、研修参加者数等により記載をしているところです。</p>
<p>「学童期むし歯予防推進事業」は7月で終了。この事業を通してフッ化物洗口に対する理解は促進したか、またフッ化物洗口の実施によるむし歯予防につながっているかの検証はされたのでしょうか？</p>	<p>学童期むし歯予防推進事業は、県内6校のモデル校でのフッ化物洗口の実施を通して、フッ化物洗口を普及するための体制を検証することを目的に、平成29年度から実施したものです。洗口の効果や意義については、平成30年6月から11月にかけて、モデル校ごとに開催した検証会議において、児童や保護者、教職員の理解が得られていることを確認しております。 なお、フッ化物洗口のむし歯予防効果については、国内外の長年の実績に基づく多数の検証によって既に実証されています。</p>
<p>生涯を通じた歯の健康維持を目標に、学童期、成人期、老年期等それぞれの実情に応じた対策を立案し、事業を行っているものと考えますが、中長期的な視点から、各事業の成果・実績を十分に検証・分析し、重点的に力を入れるべき事業の選別、より良い事業の立案につなげていくことが必要ではないかと感じました。また、事業により得られた成果については、各事業の対象者だけでなく、広く県民一般に対して知識として提供していくことも肝要と考えます。</p>	<p>事業評価と改善について、引き続き本協議会をはじめ、関係団体・機関の御意見も伺いながら、取り組んでまいります。 事業成果については、県ホームページ等による情報発信について検討いたします。</p>

報告事項2 令和2年度歯科保健医療事業について

委員からの御意見

御意見	事務局回答
<p>かなり事業予算が増額されているが、新型コロナウイルス感染症の発生により事業展開は困難を極めたのではないかと推察します。歯科保健・歯科医療は様々な疾病予防対策に重要であるため、関係部署を越えての取り組みを一層推進して欲しい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度事業については縮小を余儀なくされました。令和3年度事業については、引き続き感染拡大の影響が懸念されるものの、関係機関と連携し、推進してまいります</p>
<p>8の項目(地域医療連携促進費)の予算が大幅に増えているのは、新規事業のためでしょうか。</p>	<p>主に新規事業によるものです。</p>

<p>基本的に昨年度の事業を踏襲しているものと考えますが、昨今の新型コロナウイルスの影響に鑑みずと、それを含む新たな感染症の将来的発生も想定した上で、早い段階で対策を進めていく必要があると考えます。例えば、医療資源の適切な配分を行うとの観点からも、対応可能なところはオンラインによる研修会を行ったり、ライブによる対応が難しい場合は研修DVDの作成・貸出等の措置をとるなど、非参集型、非接触型の事業の実施も検討していいのではないかと考えます。また、オンラインの方法をとることにより場所、時間等の制約も少なくなることから、他の自治体との連携、情報共有なども考えられます。</p>	<p>令和2年度事業の一部は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から、オンラインや情報媒体の送付等により実施しました。令和3年度においても、感染拡大状況を踏まえ、オンライン等を活用しながら事業を推進してまいります。</p>
---	---

### 報告事項3 福岡県歯科口腔保健推進計画(第2次)における数値目標の進捗状況について

#### 委員からの御意見

御意見	事務局回答
<p>市町村歯周疾患検診の結果については、年度によって数値がぶれる可能性があるため、最終評価年度以外では、単年度の数値そのものよりも、計画期間中の経年的な傾向を見ることの方が重要であることをコメントした方が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>数値目標の進捗状況については、直近値のみでなく経年的な傾向により確認できるよう、資料について検討いたします。</p>
<p>乳幼児・学齢期のむし歯の減少や歯の喪失予防は少しずつ進んでいるが、特に若年成人の歯周病対策が今後の課題と考える。職場健診(労働安全衛生法による事業所健診)との連携した取り組みができないものか？</p>	<p>成人期の歯周病対策については、県内の事業所に対して定期歯科健診の実施を働きかけるとともに、従業員に対して歯周病予防に関する啓発を行う研修会を実施しています。</p>
<p>県学校歯科医会の活用を。</p>	<p>県学校歯科医会を含め、関係部署及び関係団体・機関等と連携しながら、計画の推進に努めてまいります。</p>
<p>歯周疾患検診を実施している市町村が2割も増えているのはなぜでしょうか。効果的な取り組みがあるのでしょうか。</p>	<p>歯周疾患検診の実施率の増加は市町村による取り組みの強化によるものです。県においては、市町村支援の観点から、各市町村の取り組み状況についての情報提供や、地域の歯科保健に関する会議の場等での働きかけ、市町村歯科保健担当者を対象とした研修会での啓発等を行っています。</p>
<p>計画にありますように、事業計画の実効性を高めるために数値目標を設定することは極めて妥当であると考えます。数値を拝見する限り、大部分の事業について効果が出ているものと思われませんが、数値が伸び悩んでいるもの、悪化しているものもあり、最終年に評価を行う予定とはされておりますが、対策可能なものについては分析の上、早期の対策を行っていくことが肝要と考えます。また、既に対応されているものと推察いたしますが、他の自治体における数値との比較、他の自治体の取り組みの研究・把握といった点も、より実効性のある事業計画の策定に資するものと考えます。</p>	<p>数値目標の進捗状況を踏まえ、事業の効果的な推進を図ってまいります。</p>

## 報告事項4 県内小学校におけるフッ化物洗口の実施状況について

### 委員からの御意見

御意見	事務局回答
<p>意見ではなく、感想ですが、他県と比較してフッ化物洗口の実施率が低い理由について、本県独自の要因があるのか気になりました。</p>	
<p>実施率について、九州各県の中で、最低（1.9％）で、長崎県は100％であり、全国平均の24.4％と比較しても、低調であり、重要な課題と考えられる。重点項目として対処すべきと思われる。</p>	<p>他県の状況等、情報収集と分析を行い、効果的な施策の方向性を検討し、関係部署及び関係団体・機関等と連携して、フッ化物洗口の普及について引き続き重点的に取り組んでまいります。</p>
<p>九州各県の実施状況にはかなりの格差がある。格差の理由や実施が進んだ県の取組状況を踏まえて、実施促進の方策を再検討する必要があるのではないかと。また、「フッ化物洗口」に対する根強い不安もあるのは事実である。それをどう払拭させるかが課題でもある。</p>	<p>また、正確な情報の発信等により、洗口に対する理解を得られるよう努めます。</p>
<p>県学校歯科医会の活用を。</p>	
<p>R3年度に向け、コロナ感染予防のためのフッ化物洗口実施に係る指針等があれば、小学校においては取り組みやすい。</p>	<p>関係学会の意見等の情報収集を行い、感染予防に留意したフッ化物洗口について、正確な情報提供に努めます。</p>
<p>フッ化物洗口を実施している割合が高い長崎や熊本が必ずしも12歳児のむし歯本数や有病率が低いわけではない点をどう考えればいいのでしょうか。</p>	<p>小学校でのフッ化物洗口の効果が、全国的に統一された指標である12歳児のむし歯のデータに数字として表れるまでには、洗口開始後6年前後かかると言われています。佐賀県以外の近年洗口率が増加した各県において、県平均のむし歯本数や有病率が減少するのは数年後になると考えられます。</p>
<p>資料5（表2、都道府県別むし歯有病率）から推測するとフッ素実施とむし歯予防の効果があまり紐づけられないように感じました。今後も継続して一部の学校へのフッ素洗口は継続されるのでしょうか？</p>	<p>県では引き続き、科学的根拠に基づいたむし歯予防法であるフッ化物洗口の普及に取り組んでまいります。</p>
<p>福岡県における12歳児の一人平均むし歯本数が全国平均と比較して多いとの点については、生活習慣等を含めその原因分析が必要であると考えます。その対策の一つとして、県内小学校におけるフッ化物洗口の実施を行っているものと考えますが、従来、その安全性や有効性に疑問を呈する意見があったとも承知しており、実施校の拡大を図る上で、透明性のある知識・情報の提供が重要と考えます。</p>	<p>科学的根拠に基づくむし歯予防の方法であるフッ化物の利用法の中でも、公衆衛生的に優れた方法として、県ではフッ化物洗口の普及に取り組んでいるところです。正確な情報の発信等により、洗口に対する理解を得られるよう努めてまいります。</p>
<p>どのようにして実施校を選定しているのでしょうか？</p>	<p>各小学校でのフッ化物洗口実施は、市町村教育委員会による決定に基づくものです。</p>

## その他の御意見等

### 委員からの御意見等

御意見等	事務局回答
<p>新型コロナの影響で、学校での歯科健診が遅れたことや、市民に歯科の受診控えが広がったことで、何か健康に影響があらわれているのか、調査、検討が必要だと思います。</p>	<p>歯科口腔保健における新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響について、情報収集を行ってまいります。</p>
<p>今後の協議会の円滑な運営、実効的な意見交換の実施、資源の節約等の点も考慮しますと、オンラインによる協議会の開催、インターネットを通じた関連資料へのアクセスといった点もご検討いただけますと幸いです。</p>	<p>令和3年度の協議会の開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況も踏まえながら、オンライン等の活用について検討を行います。</p>